

3月

カトリック麹町教会



# MAGIS

マジス = 「より、もっと、さらに」

教会テーマ

さあ出かけよう 心をつないで イエスとともに  
~ともに重ねた25年の喜びのうちに 聖霊の導く未来へ~

## 善・誘惑・悪

助任司祭 柴田 潔

あるカトリック学校で『アンネの日記』を題材に平和学習をしました。その中で、主の祈りにある、「悪」の反対「善」について考えました。

倒を見てもらわなければならぬ。あなたが、その責任を引き受けてくれる気があるか？」「もちろんです」ミープは答えます。「ミープ、ユダヤ人を支援する罪は重いよ。投獄されることはおろか...ことによると...」ミープは遮り、「もちろんです、迷いはありません」と、強い悪が支配している中で、善の人たちを守る決意をしました。

まず、映画『アンネの日記』からです。

ドイツの人たちはどうでしょう？ 従来ドイツ国内の多くの人々は、ユダヤ人の絶滅政策について知らなかったという見方が少なくありませんでした。しかし、近年の世論報告の分析によって、東部の一般住民には伝わっており、ドイツ住民の多くがユダヤ人の絶滅政策に関して

「知っている日か来た...」

「I didn't do enough」と言いながら泣き崩れます。善を成したシンドラには、もっと助けられた、という後悔がありました。

（アンネとペーターは抱き合うが、ゲシュタポの車が8人を連行に来る）

生徒さんの発表です。

アンネは命が狙われていないから「人間は本来、善」と信じていました。

アンネ：苦しい状況でも希望を忘れず人間の善を信じ続けた強さがある

アンネの家族を助けた人たちもいます。アンネの父オットー・フランクは、従業員のミープ・ヒースに話しかけます。「ミープ、私たちが身を隠している間、誰かに面



「知ろうとしない」「知りたくない」という無関心を装ったことが分っています。大量虐殺に気づきながら暗黙の同意を与えていました。「悪」の支配に人々は沈みました。

ナチの党員でありながらユダヤ人、1000人を救ったオスカー・シンドラも紹介しました。シンドラは別れの時、ユダヤ人たちから「一つの生命を救う者が世界を救える(ユダヤ法典タルムードからの言葉)」と内側に刻まれた指輪をもらいます。彼は「もっと救えた。車を売れば10人を救えたはずだ。10人だぞ。この金のナチのバツジで2人救えた。いやたとえ一人でもいい。人間一人だぞ。努力すればもう一人救えたのに...しなかった。」

「I didn't do enough」と言いながら泣き崩れます。善を成したシンドラには、もっと助けられた、という後悔がありました。

誘惑におちいらせず、悪からお救いください。ナチの時代、私たちの時代、どのような悪が働いているでしょうか？ 私たちは善を信じ、実行しているでしょうか？ 四旬節、何ができるか問いながら過ごしましょう。

シンドラ...救えた人を見て満足するのではなく、一人の命の価値を見誤らない芯の強さがある

そして、ほかに「私たちは、常に希望を消さないようにしたい」「ロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・ガザ戦争、ミャンマー内戦...長引くと関心がなくなっている」「何ができるか考えたい」などの発表がありました。

### 教会報 MAGIS 3月号

- † “聖年”の恵みにあずかるには...  
~免償について~  
~東京教区巡礼教会~ P2~3
- † 新年の教会行事 P4
- † <現聖堂献堂 25周年記念連載> ⑨ P5
- † ご帰天 池尻廣幸神父 P6
- † Family of St. Ignatius P7  
~インドネシア共同体から~  
インサート  
(希望の巡礼者のためのスタンプ台紙)

【3月の共同祈願】

† 3月9日(四旬節第1主日)~4月13日(枝の主日)

受難を覚悟されたイエス様を  
迎え入れる私たちが、  
洗礼志願者とともに  
祈りと節制のうちに、  
四旬節を過ごすことができますように。

† 4月17日(聖木曜日)

イエス様はおっしゃいました。  
「わたしがあなたがたにしたとおりに、  
あなたがたもするようにと、模範を示したのである。」  
私たちが人びとに仕える姿で  
神様の愛を示すことができますように。

免償とは  
キリスト教におけるその  
始まりから、恵みの年、解放  
の年である聖年においては、  
免償を受けられることが、  
その特徴のひとつです。免償  
とは、果たすべき償い、すな  
わち、犯した罪に対するお  
わびとして受けるべき罰が、  
神のいつくしみと恵みによっ  
て免除されることです。罪  
の後に残される罰(苦しみ)  
は、「免償によって、どんな場  
合もキリストの恵みのおか  
げで、取り除かれます」(大  
勅書『希望は欺かない』)。免  
償は、キリストによって与え  
られた、つなぎ、解く機能に  
よって、教会を通して得られ  
ます。私たちが、犯した罪を  
心から反省し、ゆるしの秘  
跡を受け、新しい人として前  
進する決意を固める時、教  
会は、キリストや聖人たちが  
ささげた祈りや善行などの

①ゆるしの秘跡を受ける  
全免償を受けたい人は、  
免償を受けたいという意志  
を明確に持ち、心から痛悔  
し、罪への傾きから離れなく  
てはなりません。愛の精神に  
動かされ、教会によって全免  
償のために定められたわざ  
を行う前後に、次の3つの基  
本条件を満たす必要があり  
ます。

免償を受けるには

功徳の宝を分配し、罪のため  
に受ける罰のゆるしを、あ  
われみ深い御父からいただ  
けるようにします。免償は、  
罰からの解放が部分的であ  
るか全体的であるかによっ  
て、部分免償と全免償とに  
分けられ、ふさわしい心構  
えを有し、一定の条件を果  
たす時、自分自身のために  
受け、または(代禱のかたち  
で)死者に与えることができ  
ます。



「希望は欺かない」

「聖年」の恵みにあずかるには...

- ② 聖体を拝領する
- ③ 教皇の意向のために祈る

そして、2025年聖年の  
ために教会が定めたわざの  
うち、少なくとも一つを満た  
す必要があります。

- A 聖年のために指定された  
場所へ巡礼する  
(東京大司教区では、カテド  
ラルと、その他に3つの巡礼  
教会を訪問することを、全  
免償の条件とします)
- B 他の聖なる場所へ敬虔な  
訪問をすること
- C 慈悲と償いのわざを行う  
A~Cには、さまざまな規

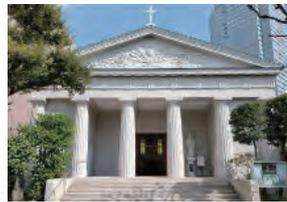
聖年の祈り

天の父よ、  
あなたは、わたしたちの兄弟、  
御子イエスにおいて信仰を与え、  
聖霊によってわたしたちの心に  
愛の炎を燃え上がらせてくださいました。  
この信仰と愛によって、  
神の国の訪れを待ち望む、祝福に満ちた希望が、  
わたしたちのうちに呼び覚まされますように。  
あなたの恵みによって、わたしたちが、  
福音の種をたゆまず育てる者へと変えられますように。  
この種によって、新しい天と新しい地への確かな期待をもって、  
人類とすべてのものが豊かに成長していきますように。  
そのとき、悪の力は打ち払われ、  
あなたの栄光が永遠に光り輝きます。  
聖年の恵みによって、  
希望の巡礼者であるわたしたちのうちに、  
天の宝へのあこがれが呼び覚まされ、  
あがないの喜びと平和が全世界に行き渡りますように。  
永遠にほめたたえられる神であるあなたに、  
栄光と賛美が世々とこしえにありますように。  
アーメン。

定と内容があります。また、  
巡礼などに行かれない人々  
のための配慮もあります。  
※を参照してください(巡  
礼の際には、『巡礼ハンドブ  
ック』の「訪問する際の注意」  
を参照)

※カトリック中央協議会HP『教  
皇フランシスコにより発表された  
2025年の通常聖年の間に与えら  
れる免償に関する教令』  
<https://www.cbci.catholic.jp/2024/07/24/30304/>



 <p><b>2025年 聖年 「希望の巡礼者」</b></p> <p><b>東京大司教区 巡礼教会</b></p> <p>当教会以外の教区内の 巡礼教会を紹介します。 なお『巡礼ハンドブック』は、 東京大司教区HP(右QRコード)から ダウンロードできます</p>  <p>※巡礼教会に配慮し、聖堂内では静かに祈って下さい。 献金にもご協力ください。</p>	<p><b>●カトリック秋津教会</b> ＜主の降誕＞*</p> <p>📍 東京都清瀬市梅園 3-14-18</p> 	<p><b>●カトリック清瀬教会</b> ＜主の降誕＞</p> <p>📍 東京都清瀬市松山 1-21-12</p> 
<p><b>●カトリック小平教会</b> ＜無原罪の聖マリア＞</p> <p>📍 東京都小平市大沼町 2-32-10</p> 	<p><b>●カトリック神田教会</b> ＜聖フランシスコ・ザビエル＞</p> <p>📍 東京都千代田区西神田 1-1-12</p> 	<p><b>●カトリック北町教会</b> ＜聖アンデレ＞</p> <p>📍 東京都練馬区北町 3-16-1</p> 
<p><b>●カトリック五井教会</b> ＜労働者聖ヨセフ＞</p> <p>📍 千葉県市原市五井中央西 1-33-10</p> 	<p><b>●カトリック関口教会</b> ＜無原罪の聖マリア＞</p> <p>📍 東京都文京区関口 3-16-15</p> 	<p><b>●カトリック関町教会</b> ＜幼きイエスの聖テレジア＞</p> <p>📍 東京都練馬区関町北 2-11-7</p> 
<p><b>●カトリック高輪教会</b> ＜殉教者の元后＞</p> <p>📍 東京都港区高輪 4-7-1</p> 	<p><b>●カトリック調布教会</b> ＜聖ヨハネ・ボスコ＞</p> <p>📍 東京都調布市富士見町 3-21-12</p> 	<p><b>●カトリック築地教会</b> ＜聖ヨゼフ＞</p> <p>📍 東京都中央区明石町 5-26</p> 
<p><b>●カトリック西千葉教会</b> ＜被昇天の聖母＞</p> <p>📍 千葉県千葉市中央区汐見丘町 11-14</p> 	<p><b>●カトリック八王子教会</b> ＜諸聖人＞</p> <p>📍 東京都八王子市本町 16-3</p> 	<p><b>●カトリック松戸教会</b> ＜大天使聖ミカエル＞</p> <p>📍 千葉県松戸市松戸 1126</p> 

\*は、教会堂名

新年祝賀会

新年祝賀会2025 今年も和やかに

1月12日(日) 11時よりヨセフホールにて行われました。高祖敏明主任司祭と神父様方、シスターの方の挨拶、信徒代表からのメッセージの後、恒例の鏡開きで始まりまし

高祖敏明神父の挨拶

今年「聖年」恵みの年です。「希望は欺かない」と言う教皇からのメッセージを受け、希望の巡礼者としてただスタンプを押すのではなく、和解の恵みをいただき、人と人、社会と社会、あ



は終始和やかな雰囲気になりました。

先の教皇のメッセージの中に「新しい兄弟姉妹の絆で私たちを結び直すために、イエスは人々を隔てる壁を壊し、平和を取り戻してくださいました」とあります。世界に目を向けるとウクライナやロシアなど、さまざま

な苦難を抱えている兄弟姉妹がたくさんいて、社会全体に分断と対立が生じています。主の平和を受けて歩む知恵と勇気が与えられますようにお祈りしたいと思います。

18時のミサの中で、20歳を迎えた成人をお祝いします。子どもたち、若者たちは夢を運んでくれます。12年後の麹町教会100周年も、皆さんと一緒に祝いしたいと思います。

すべてを乗り越える恵みの年となりますように。

信徒代表 〇〇さんからのメッセージ(代読)

昨年2024年は現聖堂25周年記念の年でした。皆さまのお陰で現聖堂献堂25周年記念国際ミサも滞りなく行われました。改めてお礼申し上げます。2025年の「聖年」もまた皆さまとともに、新しく希望を実践する一年としたいと思います。



次に初金聖歌隊による歌のプレゼントがあり、混声合唱による重厚なハーモニーが、ヨセフホール全体に響き渡りました。アンコール曲は1月生まれの高祖敏明神父、柴田潔神父、関根悦雄神父とオルガンスト浅井寛子さんに、スペイン語と英語で『ハッピーバースデー』を歌いました。第二部のデザート

& コーヒータイムでは恒例のお汁粉やポルボロンが提供され、聖歌『ごらんよ空の鳥』を歌って閉会しました。

そのほかの教会行事

●成人式ミサ&祝賀会

1月12日(日)18時のミサで22名の新成人が主聖堂に

集まり、祝福していただきました。聖イグナチオ教会で

スーツを着てミサにあずかるのはとても新鮮でした。なかでも印象に残っていることは3人の神父に祝福を受け、侍者にろうそくの火をともしてもらい、会衆の皆さまに拍手をいただいたことです。この光景は貴重で忘れられない体験でした。

また、19時からヨセフホールにて祝賀会が行われ、鏡開きや豪華景品ありのクイズ大会が行われました。リーダーと談笑したり、たくさんの方からお祝いの言葉をいただいたりなどとても楽しい時間を過ごすことができました。この日を迎えられた喜び、そして皆さまの祝福を心にとめ、これからも自分の道を信じて歩んでい



うと思います。

●土曜・日曜学校お餅つき

1月19日(日)テレジアホールにて、土曜・日曜学校初の合同開催、お餅つきが行われました。子どもたちとリーダーが杵でついたお餅はあんころ餅、あべかわ餅、磯部巻きや雑煮に。子どもたちとその家族、リーダー同志の交流が深まった楽しい集いとなりました。



●サントニーニョの祭り

1月19日(日)12時の英語ミサの中で、マグトト・エドワード・ジョゼフ神父司式のものと行われました。この祭りはサントニーニョ(幼きイエス・キリスト)の木像が1565年の戦火を奇跡的に守り、フィリピンの人々がキリスト教を受け入れるきっかけとなったことを祝います。1月第3日曜日に世界中のフィリピンコミュニティで盛大に行われます。



〈現聖堂25周年記念連載〉⑨

## すべてのいのちを守るために 聖イグナチオ教会の環境対策

■ さん(信徒・教会事務室スタッフ)

### 教皇フランシスコの呼びかけに込めて

教皇フランシスコは環境問題への対応を重視され、2015年に回勅『ラウダー・ト・シ』を発表し、環境保護と気候変動に関するカトリック教会の立場を示されました。さらに「ラウダー・ト・シ・アクション・プラットフォーム」において、教区、学校、修道会、家庭など幅広いカトリックコミュニティが環境に配慮した行動をとるよう促し、使徒的書簡『ラ

ウダー・テ・デウム』では、気候変動に対して迅速に対応するよう呼びかけています。

2019年、教皇は来日された際にも、環境保護を含む社会正義について強く訴えられました。このような教皇の呼びかけに込め、日本の司教団は持続可能な社会の構築と環境問題への対応を、教会と信者の使命の一つに掲げています。

### 照明のLED化

聖イグナチオ教会ではどのような環境対策を行っているのか、ご紹介します。

2015年から照明のLED化に着手しました。まず信徒会館の各集会室。翌年には各階のロビーと廊下のダウンライト。クリプタとトイレ照明をLEDに交換しました。この2ヶ所は、人が入るとセンサーが感知して点灯する照明に替えたので、節電にもなっています。

2019年には主聖堂の天井。2023年には主聖堂のバルコニー下、ヨセフホール、テレジアホールの照明をそれぞれLED化しました。LED照明は従来の蛍光灯よりも明るく感じられる性質があるため、蛍光灯の半分程度の点灯で済む所もあります。また、LED照明の寿命は従来の蛍光灯の3倍以上あり、製造面からも環境保護になっています。

### 空調の効率化

2016年からはトイレを順次、節水型に取り換え、2022年に更新を完了しました。

空調は2018年から効率化に取り組み始めました。信徒会館の空調は全館に配管を張り巡らし、夏は冷却水を、冬は温水を流して冷暖房を行っているのですが、配管の内側に汚れがこびりつくとも水の流れが滞り、効率が悪くなります。そこで、水流が低下しないように防錆装置を着けています。配管が経年劣化すると取り換えなければいけません。それには莫大な費用がかかります。経費削減のためにも、

防錆装置はメリットがあると考えられます。また、2020年には信徒会館のエレベータを省電力タイプに替えました。

### 課題はゴミの分別徹底

身近な問題としてぜひ知っていただきたいのは、ゴミについてです。当教会から出すゴミは「事業系ゴミ」という分類で、民間の廃棄物処理業者に委託しています。回収は有料で、月平均約3万円。年間で36万円ほどかかります。

それとは別に年一回、粗大ごみを回収してもらい、3トントラックで2台分、25万円ほどになります。実は、教会から出るはずのないものが捨てられていることがあります。例えば乳母車や家電製品などです。自宅で捨てるのが面倒だからといった理由なのかもしれません。ゴミを教会に持ち込むのはやめましょう。

今後の大きな課題はゴミの分別の徹底です。紙類などの可燃ゴミ、各種プラスチックやビニール等の不燃ゴミはきちんと分けて捨てるように心がけましょう。

弁当やカップ麺を食べた後の容器は不燃ゴミです。レジ袋やビニール袋に入れて口を縛って、ゴミ箱に入れてください。分別していなかったり、袋の口を縛らずに捨てる、業者は回収してくれません。

ペーパーレス化も課題の一つです。チラシや資料の印刷をされる活動グループも多々ありますが、現状の8割程度の枚数で済むような気がします。事務室も多くの紙を使っているため、教会全体で紙の削減に取り組んでいきたいと思います。

近年の気候変動は誰もが実感するところです。神さまからいただいた自然、動物、そして地球が様々な形で悲鳴を上げているのです。一人ひとりが日常の中でできることに取り組み、私たちの「共通の家」である地球と、すべてのいのちを守っていくようにしたいものです。



ミッション2030プロジェクトチームでは、「すべてのいのちを守るために」をテーマに講話と分かち合いを行いました。本稿は2024年12月8日(日)に さんがお話しくださった内容を抜粋・編集したものです。



# 池尻廣幸神父様 ありがとうございました

聖イグナチオ教会で第6代主任司祭をつとめてくださった池尻廣幸神父様が2月13日(木)にご帰天されました。葬儀ミサは、2月17(月)に祇園教会で、また3/1(土)に当教会で追悼ミサを行いました。池尻神父様のためにお祈りください。

## 池尻廣幸神父様に感謝 2002年度教会委員長

私たちが親しみを込めて「池さん」と呼ばせていただいていた池尻廣幸神父様が2月13日に帰天されました。誠に残念なことです。

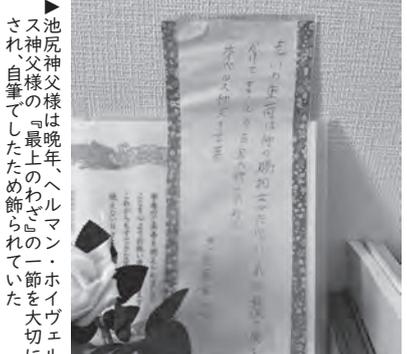
池尻神父様は司祭叙階後、1974年に麴町(聖イグナチオ)教会の助任司祭として着任され、その後、マニラでの実践司牧研修、祇園教会助任司祭・主任司祭を経て1992年に再び当教会に帰任。1998年からは主任司祭として7年間お勤めになり、通算20年間にわたって教会の運営、宣教司牧、特に子ども、生徒、学生、教会学校のリーダーはじめ若い人の養成に熱心に力を注いでこられました。

私たち夫婦が池尻神父様にはじめてお目にかかりましたのが1974年、今から51年前でした。私がキリスト教について教えてほしいと教会に申し出たところ、面会をしていただいたヨハネス・ベチコフェル主任司祭が、私とも年齢的に近い池尻神父様からお話を聞くようにとのご指導がありました。毎

週水曜日の19時から、すでに洗礼を受けていた家内と一緒に「公教要理」をテキストとしてご自身の信仰に基づいたお話を伺い、お陰様で1974年6月に池尻神父様から洗礼を授けていただくことができました。

そのしばらく後に持ち上がったのが、教会の建て替え計画でした。旧イグナチオ教会は木造建築であった上に第2次世界大戦後すぐの1949年に建てられたもので、全体的に構造が弱く傷みが激しくなってきました。

1988年には新改築のための委員会が開催され、委員長の池長潤神父(後の大阪大司教)の下で建築家の意見を聞きながら、1999年に竣工させるため足掛け11年間にわたり、信徒が様々な分野で献身的



池尻神父様は晩年、ヘルマン・ホイヴェルス神父様の『最上のわざ』の一節を大切にされ、自筆でしたため飾られていた

な働きと協力を尽くしました。公聴会や公開説明会を数多く行い、できる限り多くの信徒の方々の意見を聴いたうえで、建設費も赤字を出すことなく完成に漕ぎつけることができました。また旧聖堂のステンドグラス、祭壇、ご像、洗礼盤などを信者が眠るクリプタ(納骨堂)に移すなど、古いものを大切に引き継いで新しい教会に生かすことにも意を注がれました。

この間、池尻神父様は昼夜を問わずルイス・カンガス主任司祭を助け務めてこられました。特に新しい教会ができ、元の教会の最も大切な精神を移すための遷堂式(せんどうしき)を行うことになった時に、池尻神父様のご発案で毎日曜

日のように7つのミサが古い聖堂で始まり、み言葉の祭儀が終わった後に、教会の子どもと若者がおみこしでマリア様のご像を新しい聖堂に移し、続けて感謝の祭儀を新しい聖堂で行うことができました。今まで50年間見守ってくださったマリア

様を、最後に無事に新しい聖堂に安置することができたのです。

池尻神父様は2005年にサバティカル(長期休暇)に入られ、その後、山口教会と宇部教会で意欲的に司牧活動を続けておられましたが、その後体調を崩され2018年からは「みこころの家(広島)」で療養なさっておられました。必ずまたお元気なお顔を拝見できるとばかり思っておりましたところ、突然の悲報に驚き、痛恨の極みでございます。池尻神父様の聖イグナチオ教会での20年間にわたっての献身的なお働きに厚く厚く感謝を申し上げますとともに、神父様の永遠の安息を心よりお祈り申し上げます。

### 略歴

- 1942年3月1日 広島県御調(ミヅ)郡御調町で生まれる
- 1962年3月31日 イエズス会入会(広島)
- 1972年3月18日 司祭叙階(東京カテドラル聖マリア大聖堂)
- 1974年~1980年 麴町(聖イグナチオ)教会助任司祭
- 1980年~1981年 EAPI(マニラ)で実践司牧研修
- 1981年~1986年 祇園教会助任司祭(広島)
- 1986年~1992年 祇園教会主任司祭(広島)
- 1992年~1998年 麴町(聖イグナチオ)教会助任司祭
- 1998年~2005年 麴町(聖イグナチオ)教会主任司祭
- 2005年~2007年 サバティカル
- 2007年~2009年 山口教会で司牧活動
- 2009年~2018年 宇部教会で司牧活動
- 2018年~みこころの家(広島)で療養
- 2025年2月13日 帰天(みこころの家)





**Family of St. Ignatius**

～インドネシア共同体から～

インドネシア人カトリック共同体(KKIT)は最近多くの新しいメンバーを歓迎しました。新しく来日した司祭、学生、働く方々の歓迎は新年会において行われました。多くの新しい兄弟姉妹を迎えるのは共同体を生き生きさせています。その雰囲気の中で、1月には聖イグナチオ教会の日本語共同体からの代表とのミサも行われました。心一致の具現化として皆様は交流しました。そして、最後に、1月末には霊的対話のための集まりが開かれました。祈りの後の霊的な分かち合いによって、心から



▲「霊における会話」の分かち合いの集合写真

心への対話が出来たと皆様が喜んでいました。シノダリティは旅している移民の教会共同体の中にも神の恵みを明らかにします。(アントニウス・フィルマンシャー神父)

●宣教司牧評議会からのお知らせ●  
(2月6日開催)

1. 3月30日(日)18時ミサは現聖堂献堂25周年感謝ミサとなります。祈りとともに麴町教会100周年に向けたタイムカプセルを奉納します。
2. 2025年度より教会学校が、土曜学校、日曜学校から日曜日に実施される「小学生会」として新たに生まれ変わります。
3. 聖年の献金封筒を作成しましたのでご利用ください。

●四旬節黙想会●

日時：3月20日(木・祝)  
10:00～講話・黙想 12:00～ミサ  
場所：主聖堂  
指導：瀬本正之神父  
(イエズス会 / 日本カトリック司教協議会ラウダート・シ デスク秘書)

事前予約不要、YouTube 配信あり  
\*詳細は教会ホームページ、ポスター、チラシをご覧ください

●お手伝い募集●

- ・2025年度年間予定表の封入作業  
日時：3月19日(水) 9:00～12:00  
場所：ヨセフホール  
\*信徒へ8,000通郵送するための封入作業をお手伝いください。
- ・シュロの枝切り作業  
日時：4月11日(金) 10:00～12:00  
場所：ヨセフホール  
\*受難の主日に使用するシュロの準備作業  
\*持ち物：エプロン、軍手、花ばさみ
- ・イースターエッグの飾りつけ  
日時：4月19日(土) 9:00～12:00  
場所：ヨセフホール  
\*お子様も参加できます  
\*持ち物：エプロン

●財務報告●

1月26日(日)世界子ども助け合い日の献金1,320,508円はローマ教皇庁に送られ、世界各地の恵まれない子どもたちのために使われます。

## 3月の典礼と行事

最新情報は聖イグナチオ教会ホームページでご確認ください。

2 (日) 年間第8主日	
5 (水) 灰の水曜日(大斎・小斎)	ミサと灰の式 7:00 12:00 19:00 四旬節の期間中愛の献金
7 (金) 初金曜日	十字架の道行 18:45 マリア聖堂(聖週間前までの毎金曜日)
9 (日) 四旬節第1主日	洗礼志願式 10:00 日曜サロン・ミニオリエンテーション 11:00～12:30 ヨセフホール ミサがわかるセミナー 13:00 「新しい歌を主にうたえ」 講師：宮越俊光氏
12 (水)	傾聴ルーム 11:15～15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00 ミサ後
15 (土)	新受洗者と代父母のためのフォローアップ講座 15:00 ヨセフホール
16 (日) 四旬節第2主日	子どもとともにささげるミサ 10:00
19 (水) 聖ヨセフの祭日	クリプタに安置され3月に命日を迎える方々のためのミサ 12:00 2025年新春セミナー 平和を造る人は幸いである - 大軍拡に反対して - 18:30 ヨセフホール 「香港におけるキリスト教の現状と課題」 - プロテスタントとカトリックの視点から - 講師：松谷暉介氏
20 (木・祝)	四旬節黙想会 10:00 主聖堂
21 (金)	性虐待被害者のための祈りと償いの日
23 (日) 四旬節第3主日	日曜サロン・ミニオリエンテーション 11:00～12:30 ヨセフホール 教会活動連絡会議 13:00 ヨセフホール
28 (金) 神のお告げの祭日	
30 (日) 四旬節第4主日	

## 4月の典礼と行事

4 (金) 初金曜日	祈りの集い 19:00
6 (日) 四旬節第5主日	日曜サロン・ミニオリエンテーション 11:00～12:30 ヨセフホール
9 (水)	傾聴ルーム 11:15～15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00 ミサ後
13 (日) 受難の主日(枝の主日)	日曜サロン・ミニオリエンテーション 11:00～12:30 ヨセフホール
16 (水)	クリプタに安置され4月に命日を迎える方々のためのミサ 12:00
17 (木) 聖木曜日(主の晩餐)	19:00 聖イグナチオ教会献堂記念日(76周年) 聖香油のミサ(10:30 カテドラル)
18 (金) 聖金曜日(主の受難) 大斎・小斎	19:00 十字架の道行 15:00(主聖堂) 聖地のための献金
19 (土) 聖土曜日(復活徹夜祭)	19:00(洗礼式)
20 (日) 復活の主日	聖体奉仕者任命式 10:00 ミサ 洗礼式 15:30 ミサ ミサ後お祝い会 ヨセフホール
23 (水)	傾聴ルーム 11:15～15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00 ミサ後
24 (木)	ヤングオールド映画会 「聖フランシスコ アッシジの半生 プラザー・サン シスター・ムーン」 13:00 ヨセフホール
27 (日) 復活節第2主日 (神のいつくしみの主日)	初聖体 10:00 ミサ ミサ後お祝い会 ヨセフホール

★マジス発行について：4月号から8・9月合併号まで発行日が変則的になります。4月号は4月20日(日)発行予定です。

主任司祭：高祖 敏明

助任司祭：ボニー・ジェームス  
グエン・タン・ニャー  
サトルニノ・オチョア  
柴田 潔

協力司祭：ハビエル・ガラルダ  
中村 健三  
グエン・バン・テー  
関根 悦雄

シスター：マルセラ・ロサス  
(セントロ・ロヨラ)  
フロール・フロレーセ  
ジェスリン・ブエンディア  
(ジョン・デ・ブリット イングリッシュセンター)

ミサ参加方法はホームページ、教会事務室で確認してください。

### ミサの時間 Mass

【平日 Weekday】主聖堂 Main Chapel  
7:00/12:00/18:00

【土、日曜日 Saturday & Sunday】主聖堂 Main Chapel  
土曜 18:00/19:30 (Viêt Nam)  
日曜 7:00/8:30/10:00/18:00  
12:00 (English) /13:30 (Español) /  
15:00 (Viêt Nam)

【月の第1日曜日 1st Sunday】

Our Lady's Chapel  
12:30 (Português) /16:00 (Polski)

【月の第2第4日曜日 2nd & 4th Sunday】

Our Lady's Chapel 16:30 (Indonesian)

### カトリック麴町教会 (聖イグナチオ教会)

〒102-0083  
千代田区麴町6-5-1  
TEL 03-3263-4584  
FAX 03-3263-4585  
<http://www.ignatius.gr.jp>



Linktree (リンクツリー)  
リンクツリー (linktree) とは多数のリンクをまとめて表示しているツールのことです。このQRコードを読み取ると教会ホームページ、教会ガイド、Twitter、Facebook、Instagram、YouTubeへアクセスできます。

『マジス』へのご意見ご要望などのお便りは事務室までお寄せください。

\*本文中の役職名等は、寄稿もしくは取材時のものです。